

三部門で成果を発表

「二月四日開催の業務研究発表会で

平成二五年度 国有林野事業業務研究発表会が、二月四日（水）林野庁において開催されます。

四国局から森林技術・森林ふれあい・森林保全の三部門において発表します。

森林技術部門

「剣山地域における自然景観に配慮した治山工事について」

徳島森林管理署 中村治山技術官

丸田総括治山技術官

森林ふれあい部門

「森林セラピーとその可能性」

梶原町立病院 伴医師

松原まろうと会 下元会長

四万十森林管理署 森下森林整備官

森林保全部門

「四国地域の国有林内及びその周辺地域における翼種目生息確認調査」

四国自然史科学研究センター

谷地森センター長

局技術普及課 西本課長補佐

各部門の発表に期待します。

研究発表事例にまなぶ

四万十川森林ふれあい推進センター

（20年度発表）

課題名「滑床山国有林シカ食害地の植生回復への取組み」



「スマホでイノシシ捕獲」って

発表のあらまし

滑床山では、平成12年頃から山頂周辺でシカ食害が深刻化。森林総研四国支所との協力等により植生回復に取り組んだ。

具体的な取組

- シカ防護ネットの設置（山頂・鞍部の2箇所）
- ミヤコザサの移植（ボランティア等で実施）
- モニタリング（山頂4箇所・鞍部の3箇所）

結果

・ミヤコザサの^{かん}稈の本数・高さ（高さ：cm）

調査年月	山頂		鞍部	
	本数	高さ	本数	高さ
平成19.7	47	10	22	12
平成20.7	401	13	177	15

今後の展開

防護ネットの効果は顕著。ミヤコザサの移植により植生回復速度を速めることも可能。引き続きシカ害対策と新たな植生回復方法にも期待。

編集後記

平成25年度「四国森林・林業研究発表会」の発表要旨の準備を（締め切り12月13日（金））全署等でお願ひします。